

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

F-FACT

ファクト > Fukui advanced companies' try

[特集]

理念を浸透させ、力に変える
～インナーブランディングとは～



Vol. 47

全員参加型“Iビジョン経営”を展開 診える化と魅せる化で理念を浸透させる



同社HPはコチラ！

福井県でめっき加工を展開する清川メッキ工業。“自由なる創意の結果が、大いなる未来を拓く”を理念に掲げ、その浸透を目指し、全員参加型「Iビジョン経営」を進めています。今回、専務取締役 清川卓二氏に詳しくお話を伺いました。



専務取締役 清川 卓二 氏

DATA

清川メッキ工業株式会社

所在地: 福井市和田中1丁目414

代表者: 清川 肇 氏

事業内容: 電子部品、マグネット、半導体ウエハなど各種材料への電解めっき・無電解めっき加工

TEL 0776-23-2912

全員参加型

“Iビジョン経営”の展開

「Iビジョン経営」を進めていこうと考えたのは、離職を減らしたいという想いからと清川専務。「Iビジョン経営」とは、自社の理念、ビジョン、方針を示し、それを部門計画、個人目標へと落とし込んでいくもの。その取り組みは失敗の連続で、膨大な時間がかかりました。当初はクレドカードやIビジョン手帳を作成しましたが、個人がそれを持つだけで、行動に繋がりませんでした。そこで新しく取り入れたのが、Iビジョンボード。企業ビジョンを部門目標、個人目標に落とし込み、人目標に落とし込み、ボードに貼り出すことで、誰もがその目標と問題点を評価できる「診える化」と自分の目標に対する実績を明らかにできる「魅せる化」を実現。具体的な行動に繋がりました。結果、当初の目的であった離職率も20年で0%となりました。

常に変化をつけ、 形骸化を防ぐ

「4～5年、同じことを続けていると、形骸化してしまう。取り組みの目的がずれていってしまいます。」と清川専務は言います。取り組みに変化をつけていくことで、形骸化を防いできました。めっき教室もそのひとつ。めっき教室の中で子どもたちに仕事を語るときに何のために働いているのか、考えてもらうことで理念も浸透していきます。同社は、今年も新しい取り組みを始めています。

い取り組みをスタート。「人材育成目標シート」を導入しました。個々人の経験・役割に応じて目標を設定するためのシートです。「経験・役割によってやるべきことは変わってくる。それを明確にするために導入しました。」と清川専務。「Iビジョン」から「Iビジョンプラス」へ、常に変化をつけながら、経営を進めています。



当初導入した「Iビジョン手帳」



ビジョンボードで「診える化」と「魅せる化」を実現。